

都市再生整備計画 事後評価シート
福岡都心部地区

令和4年11月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

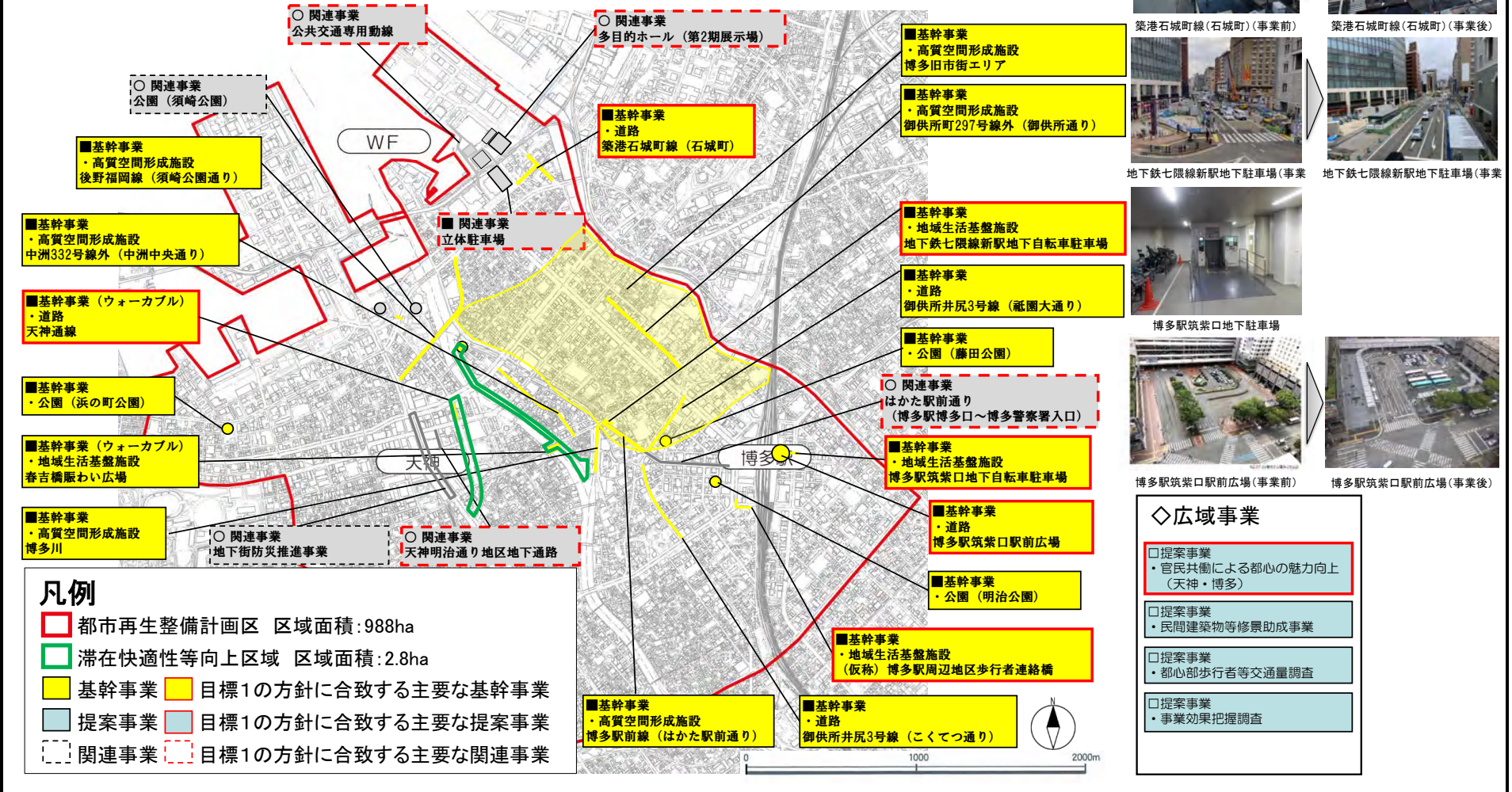
都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡都心部地区		面積	988ha					
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	10,929百万円 (まちなかウォーカー推進事業6,337百万円を含む)	国費率	0.4 (まちなかウォーカー推進事業0.5)						
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名											
		○道路(御供所井尻3号線(こくてつ通り)、御供所井尻3号線(祇園大通り)、博多駅筑紫口駅前広場) ○公園(浜の町公園) ○地域生活基盤施設(春吉橋賑わい広場、博多駅筑紫口地下自転車駐車場、地下鉄七隈線新駅地下自転車駐車場、(仮称)博多駅周辺地区歩行者連絡橋) ○高質空間形成施設(博多駅前線(はかた駅前通り)、御供所町297号線外(御供所通り)、中洲332号線外(中洲中央通り)、博多川)											
	提案事業	○地域創造支援事業(官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)、民間建築物等修景助成事業) ○事業活用調査(都心部歩行者等交通量調査、事業効果把握調査)											
		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	○道路(冷泉町288号線(榑田表参道))	関係者協議の状況により整備時期の見直しを行い実施時期を後送りするため事業削除。		事業の削除により、指標4:入込観光客数に関する目標値を見直し。							
			○公園(中島公園)	事業計画の見直しにより事業削除		事業の削除により、指標4:入込観光客数に関する目標値を見直し。							
			○地域生活基盤施設(那の津歩道橋改良)	事業計画の見直しにより事業削除		事業の削除により、指標4:入込観光客数に関する目標値を見直し。							
	新たに追加した事業	基幹事業	○高質空間形成施設(住吉261号線外、博多駅草ヶ江線(博多駅高架下))	関係者協議の状況により整備時期の見直しを行い実施時期を後送りするため事業削除。		住吉261号線外事業の削除により、指標4:入込観光客数に関する目標値を見直し。 博多駅草ヶ江線事業の削除により、指標4:入込観光客数に関する目標値を見直し。							
			○道路(築港石城町線、天神通線)	築港石城町線:ウォーターフロント地区への複数の交通動線を確保し、アクセスの強化、交通の円滑化を図るため追加。 天神通線:回遊性・賑わいのある沿道まちづくりの促進を図るため追加。		築港石城町線事業の追加により、指標3:歩行者交通量に関する目標値を修正。 天神通線事業の追加により、指標4:入込観光客数に関する目標値を修正。							
			○公園(藤田公園、明治公園)	藤田公園:事業手法が決定したことから事業を追加。 明治公園:地域要望による公園地下占用物件の工事完了に伴い公園の再整備事業を追加。		藤田公園事業は一部供用であり、効果発現は次期計画となるため、今期計画の指標への影響なし。 明治公園事業の追加により、指標4:入込観光客数に関する目標値を修正。							
提案事業	基幹事業	○高質空間形成施設(後野福岡線(須崎公園通り)、博多旧市街エリア)	後野福岡線:拠点文化施設の供用と合わせ、都心部の回遊性の向上を図るため事業を追加。 博多旧市街エリア:歴史資源や観光名所をまちなみでつなぎ、博多の歴史や文化を感じられる道路空間づくりを進めるため事業を追加。		後野福岡線事業の追加により、指標3:歩行者交通量に関する目標値を修正。 博多旧市街エリア事業の追加により、指標3:歩行者交通量に関する目標値を修正。								
		○高質空間形成施設(後野福岡線(須崎公園通り)、博多旧市街エリア)	後野福岡線:拠点文化施設の供用と合わせ、都心部の回遊性の向上を図るため事業を追加。 博多旧市街エリア:歴史資源や観光名所をまちなみでつなぎ、博多の歴史や文化を感じられる道路空間づくりを進めるため事業を追加。		後野福岡線事業の追加により、指標3:歩行者交通量に関する目標値を修正。 博多旧市街エリア事業の追加により、指標3:歩行者交通量に関する目標値を修正。								
交付期間の変更	当初変更	平成30年度～平成34年度(令和4年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	都心部主要駅乗降客数	万人/年	25,412	H27	27,336	R4	—	19,041	×			あり
	指標2	都心部の従業者数	千人	353.5	H26	385.5	R4	—	396.3	○	あり	●	R6年度
	指標3	都心部の1日あたりの歩行者交通量	千人/日	132.3	H28	135.9	R3	—	75.2	×	あり	●	—
	指標4	入込観光客数	万人/年	1,974	H27	2,116	R4	—	1,221	×	あり	●	R5年10月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1	公示地価(福岡都心部地区平均価格)	円/m ²	926,921	H28	—	—	2,192,944	○	—			都市拠点の整備や新たな開発の増加が都市の魅力向上に繋がり、従前値を大きく上回った。「目標1:都心部の核となる拠点の形成・機能強化」を把握する指標として、ふさわしいと考える。
4)実施過程の評価	実施内容			実施状況									
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要 ①

福岡都心部地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標1：都心部の核となる拠点の形成・機能強化



様式2-2 地区の概要 ②

福岡都心部地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標2：都心部の回遊性の強化



公園(藤田公園)



公園(浜の町公園)(事業前)



公園(浜の町公園)(事業後)



御供所町297号線外(御供所通り)(事業前)



御供所町297号線外(御供所通り)(事業後)



御供所町井尻3号線(祇園大通り)(事業前)



御供所町井尻3号線(祇園大通り)(事業後)



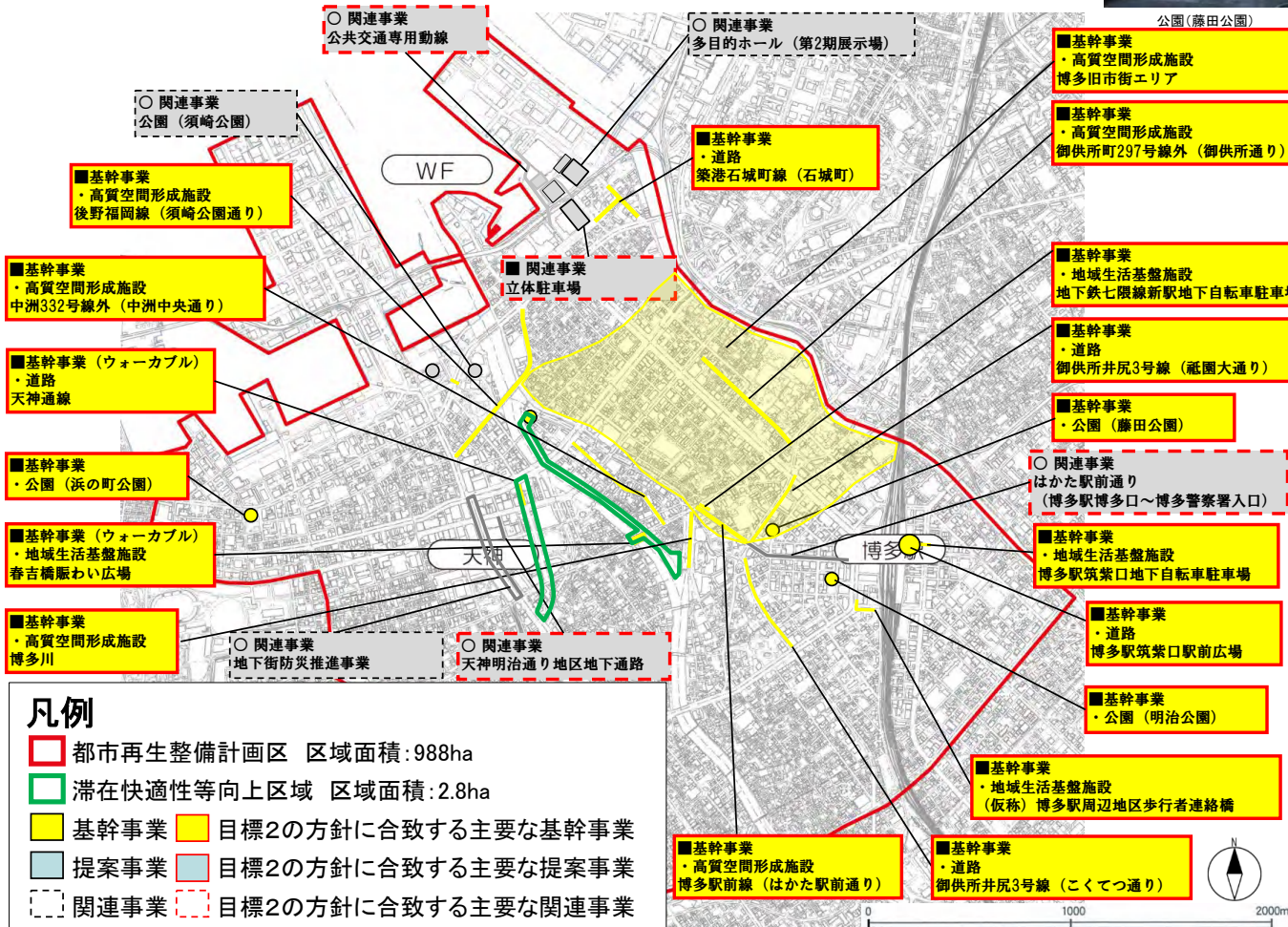
中洲332号線外(中洲中央通り)(事業前)



中洲332号線外(中洲中央通り)(事業後)

◇広域事業

- 提案事業
 - ・官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)
- 提案事業
 - ・民間建築物等修景助成事業
- 提案事業
 - ・都心部歩行者等交通量調査
- 提案事業
 - ・事業効果把握調査



凡例

- 都市再生整備計画区 区域面積:988ha
- 滞在快適性等向上区域 区域面積:2.8ha
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

■ 目標2の方針に合致する主要な基幹事業

■ 目標2の方針に合致する主要な提案事業

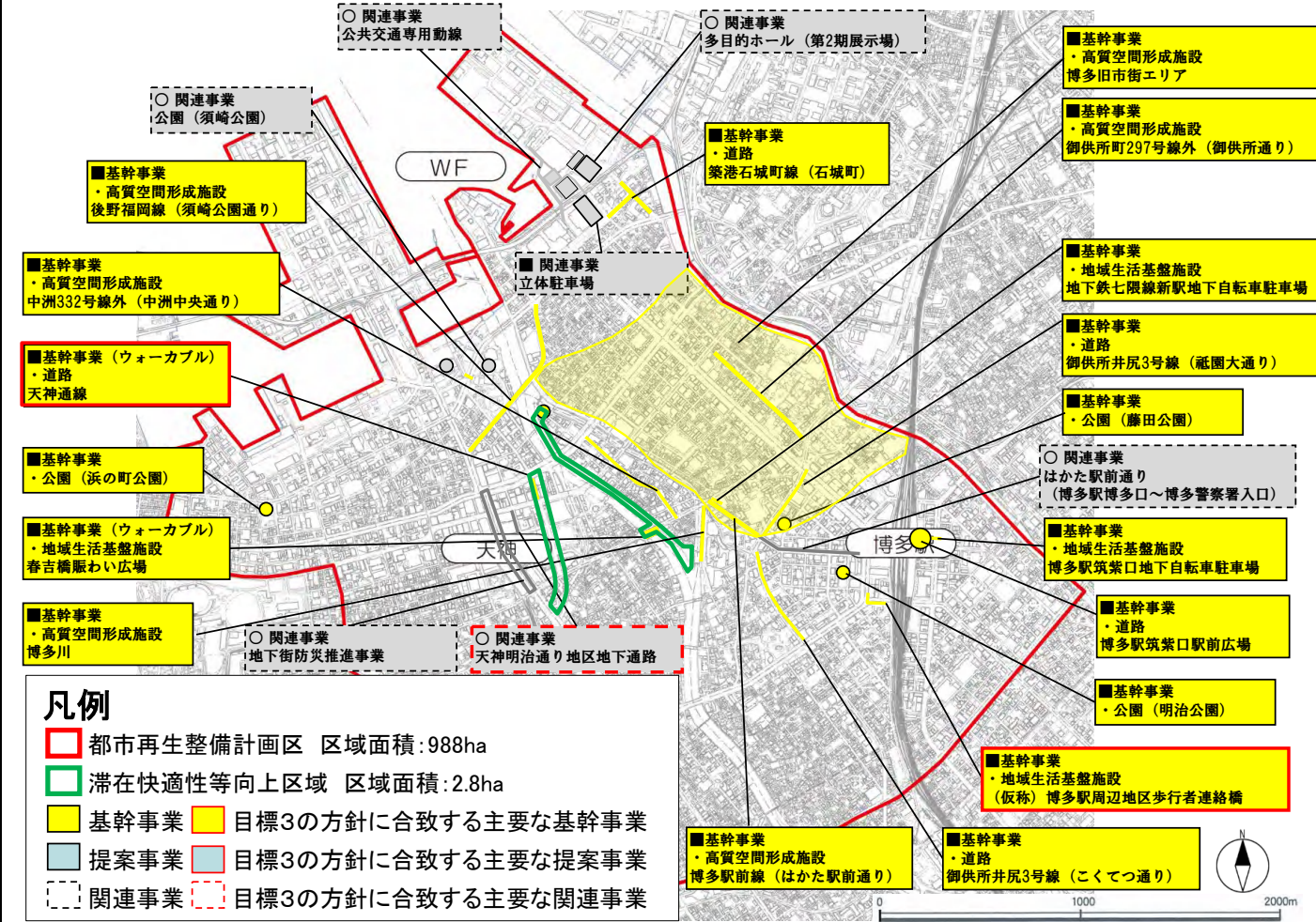
■ 目標2の方針に合致する主要な関連事業

様式2-2 地区の概要 ③

福岡都心部地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標3：官民が連携したまちづくりの推進



官民共働による都心の魅力向上(天神)



官民共働による都心の魅力向上(博多)



民間建築物等修景助成事業



(仮称)博多駅周辺地区歩行者連絡橋

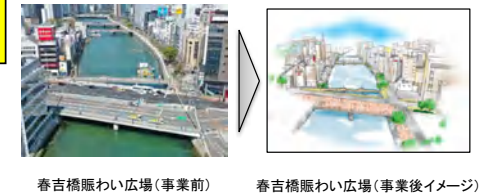
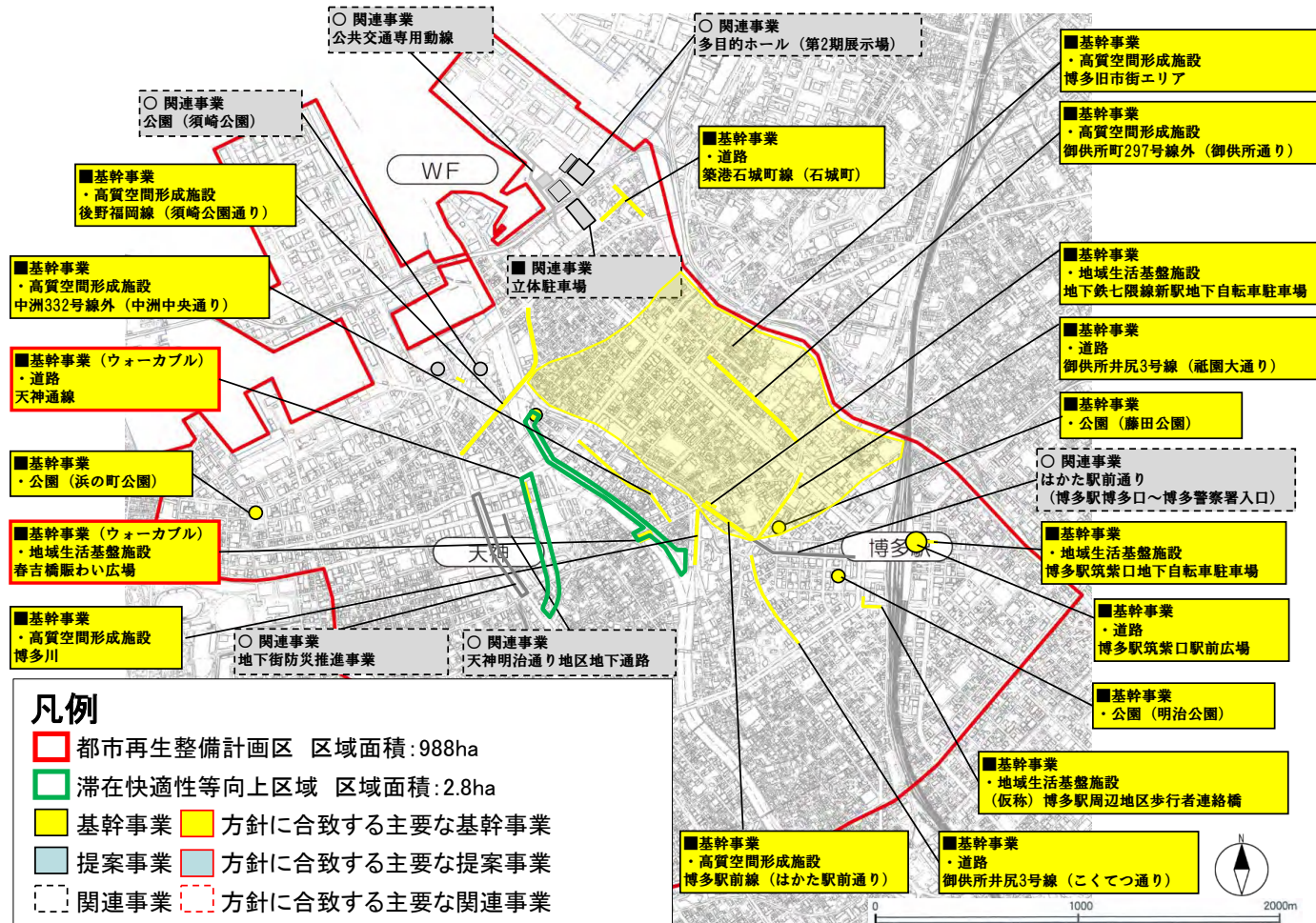
- ◇広域事業
- 提案事業
 - 官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)
 - 提案事業
 - 民間建築物等修景助成事業
 - 提案事業
 - 都心部歩行者等交通量調査
 - 提案事業
 - 事業効果把握調査

様式2-2 地区の概要 ④

福岡都心部地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標：九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

まちなかウォーカーブルの推進



◇広域事業

- 提案事業
 - 官民共働による都心の魅力向上 (天神・博多)
- 提案事業
 - 民間建築物等修景助成事業
- 提案事業
 - 都心部歩行者等交通量調査
- 提案事業
 - 事業効果把握調査

様式2-2 地区の概要⑤

福岡都心部地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標:九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり			
	目標1 都心部の核となる拠点の形成・機能強化	目標2 都心部の回遊性の強化	目標3 官民が連携したまちづくりの推進
第4期計画	<p>整備方針 天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区の交通結節機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺における歩行者ネットワーク強化 ● 駅をはじめとした拠点のアクセス性向上 ● 賑わい創出に資する都市基盤の整備 	<p>整備方針 市民や来街者が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルデザインによるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行空間の高質化・バリアフリー化 ● 交流拠点となる公園や水辺空間の整備 ● 新たな回遊動線の整備 	<p>整備方針 都心部の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携した歩行者ネットワークの整備 ● 地域まちづくり団体等との共働による賑わい・魅力づくり
まちづくりの課題	<p>残された課題 ◆ 民間建築物の更新が活発に進んでおり、今後も継続して、天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区を結ぶ良質な歩行者空間や賑わい・憩い空間の整備を図る必要がある。</p>	<p>残された課題 ◆ ユニバーサルデザインによるまちづくりは進んでいるが、バリアフリー未対応や歩行空間が不足する道路も散見される。賑わい・憩い空間の整備に加え、バリアフリー対応の歩行者ネットワークの構築を図る必要がある。 ◆ まちなかの憩い・交流空間の整備状況は今もなお十分とは言えず、今後も継続して公園整備等の安全で快適な交流空間整備に取り組む必要がある。</p>	<p>残された課題 ◆ 厳しい財政状況のもと、都心部の魅力向上に向け、エリアマネジメント団体との共働や官民連携による都市基盤の整備など、民間のノウハウや民間活力の更なる活用が必要である。</p>
第5期計画	<p>整備方針 ● 天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区において、交通結節機能を向上するため、駅周辺等における歩行者ネットワークの強化や拠点間及び駅をはじめとする拠点へのアクセス性の向上、賑わい創出に資する都市基盤の整備を進め、アジアと九州・西日本地域をつなぐビジネス・観光のゲートウェイにふさわしい魅力ある都市空間を創出する。</p>	<p>整備方針 ● 歩行空間の高質化やバリアフリー化、交流拠点となる公園や水辺空間、新たな回遊動線の整備などにより、市民や来街者が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルデザインによるまちづくりを進める。 ● 快適な歩行空間の確保や広場等の整備などにより、滞在の快適性及び魅力の向上を促進し、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る。</p>	<p>整備方針 ● 官民連携した歩行者ネットワークの整備や地域まちづくり団体等との共働による賑わい・魅力づくりを進め、都心部の魅力向上を図る。</p>

都市再生整備計画

福岡都心部地区の事後評価について

令和4年11月
福岡市

- 1. 都市再生整備計画事業について**
- 2. 「福岡都心部地区」の概要**
- 3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因**
- 4. 今後のまちづくり方策**

1. 都市再生整備計画事業について

1-1. 都市再生整備計画事業とは

○目的

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することで、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る。

○事業の特徴

- ・市町村主導で3～5年の整備計画を策定（市町村の主体的な取組）
- ・整備計画や事業成果を広く一般に公開（わかりやすさと透明性の確保）
- ・事業の評価、改善を図る仕組みの確立（PDCAサイクル）

都市再生整備計画の立案

Plan

事業の実施

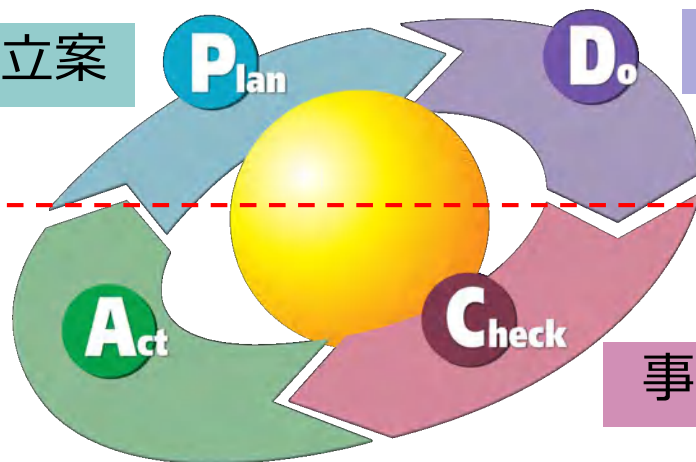
Do

今後のまちづくり方策
の作成

Act

事業効果の検証

Check



1. 都市再生整備計画事業について

1-1. 都市再生整備計画事業とは

出典：国土交通省HP

対象事業

○市町村が作成する都市の再生に必要な公共公益施設の整備等に関する計画（都市再生整備計画）に基づき実施される以下の事業等

【基幹事業】

道路、公園、河川、下水道、地域生活基盤施設（緑地、広場、地域防災施設、再生可能エネルギー施設等）、高質空間形成施設（歩行支援施設等）、高次都市施設（地域交流センター、観光交流センター等）、既存建造物活用事業、土地区画整理事業、エリア価値向上整備事業 等

【提案事業】

事業活用調査、まちづくり活動推進事業（社会実験等）、地域創造支援事業（市町村の提案に基づくソフト事業・ハード事業）



1. 都市再生整備計画事業について

1-2. 福岡市における活用状況

都市再生整備計画（旧まちづくり交付金）事業地区

福岡市全体 (R4.4時点)
地区 : 6地区
面積 : 2578ha
総事業費 : 28,056百万円

アイランドシティ地区
面積 : 192ha
交付期間 : H31~R5
総事業費 : 1,999百万円
主な交付対象事業
・公園整備
・まちかど広場整備、沿道緑化

箱崎地区
面積 : 100ha
交付期間 : R4~R8
総事業費 : 4,558百万円
主な交付対象事業
・交差点改良
・公園整備
・自由通路整備

福岡都心部地区
面積 : 988ha
交付期間 : H30~R4
総事業費 : 10,929百万円
主な交付対象事業
・道路整備
・公園整備
・歩行者連絡橋整備
・自転車駐車場整備

舞鶴公園・南公園周辺地区
面積 : 574ha
交付期間 : H31~R5
総事業費 : 8,281百万円
主な交付対象事業
・公園整備

雑餉隈駅地区
面積 : 203ha
交付期間 : R3~R7
総事業費 : 766百万円
主な交付対象事業
・道路整備
・公園整備
・自転車駐車場整備

七隈線沿線地区
面積 : 521ha
交付期間 : R4~R8
総事業費 : 1,523百万円
主な交付対象事業
・駅前広場整備
・公園整備
・自転車駐車場整備

2. 「福岡都心部地区」の概要

2-1. 目標と整備方針

大目標:九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標	整備方針
<p>目標1 都心部の核となる拠点の形成・機能強化</p>	<p>整備方針 天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区の交通結節機能向上</p> <ul style="list-style-type: none">● 駅周辺における歩行者ネットワーク強化● 駅をはじめとした拠点のアクセス性向上● 賑わい創出に資する都市基盤の整備 等
<p>目標2 都心部の回遊性の強化</p>	<p>整備方針 市民や来訪者が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルデザインによるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none">● 歩行者空間の高質化・バリアフリー化● 交流拠点となる公園や水辺空間の整備● 新たな回遊動線の整備 等
<p>目標3 官民が連携したまちづくりの推進</p>	<p>整備方針 都市部の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none">● 官民連携した歩行者ネットワークの整備● 地域まちづくり団体等との共働による賑わい・魅力づくり 等

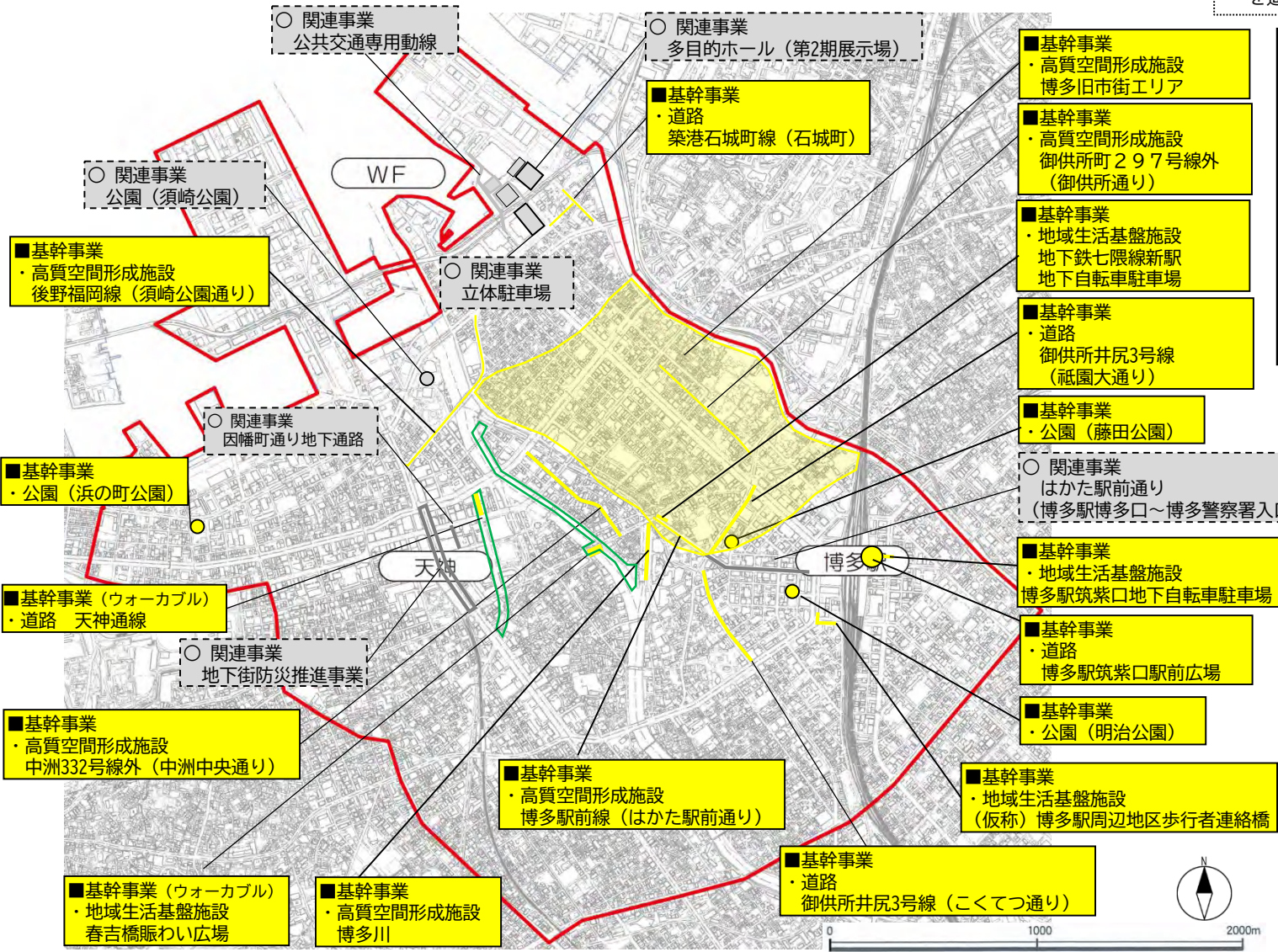
2. 「福岡都心部地区」の概要

2-2. 整備方針概要図<最終計画(R4.2)>

基幹事業：18件(ウォーカブル推進事業※2件含む)

提案事業：4件

※ウォーカブル推進事業(R2~)
「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに向け、都市再生整備計画内にあらかじめ区域を設定し、車中心から人中心となるウォーカブルな空間整備を進める事業



- ◇広域事業
- 提案事業
 - ・官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)
 - 提案事業
 - ・民間建築物等修景助成事業
 - 提案事業
 - ・都心部歩行者等交通量調査
 - 提案事業
 - ・事業効果把握調査

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

- 都市再生整備計画区域
区域面積：988ha
- 滞在快適性等向上区域
区域面積：2.8ha

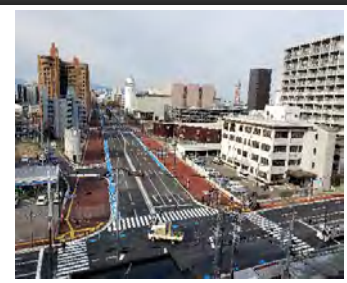
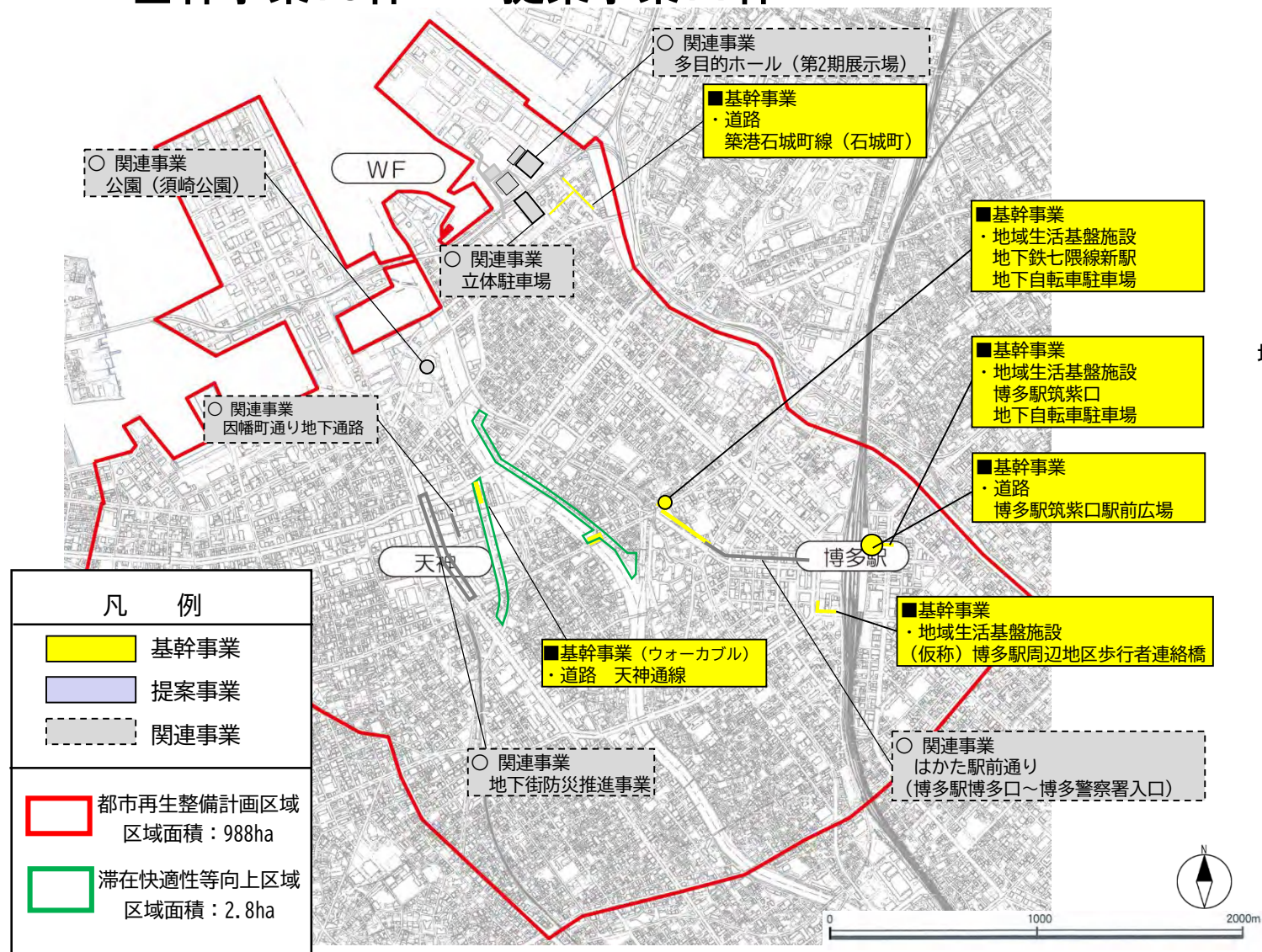
2. 「福岡都心部地区」の概要

2-3. 目標と事業(1)

目標1: 都心部の核となる拠点の形成・機能強化

基幹事業: 6件

提案事業: 1件



築港石城町線(石城町)



地下鉄七隈線新駅地下駐輪場



博多駅筑紫口駅前広場

◇ 広域事業

□ 提案事業

- 官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)

2. 「福岡都心部地区」の概要

2-3. 目標と事業(2)

目標2: 都心部の回遊性の強化

基幹事業: 18件 提案事業: 2件

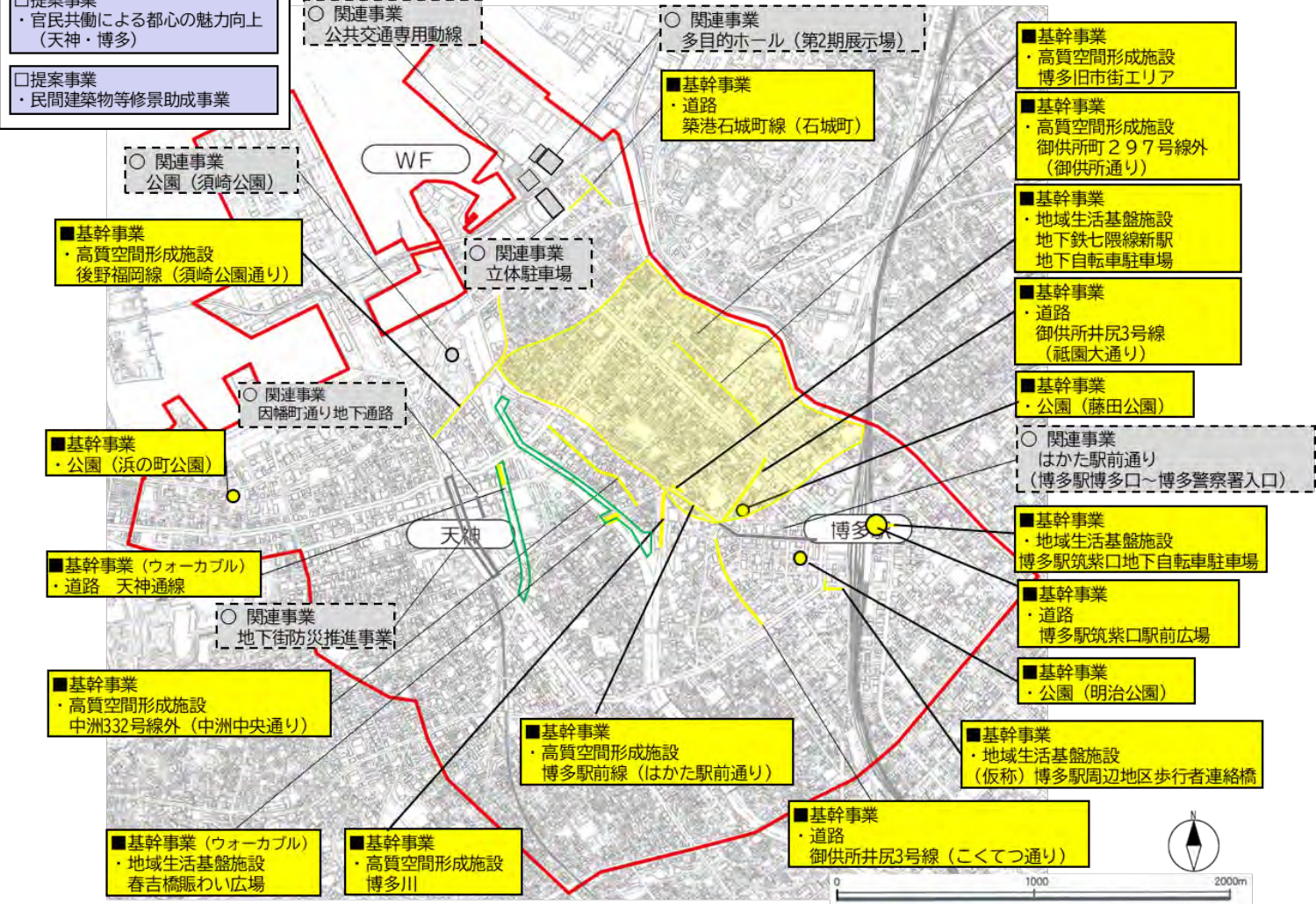


公園(浜の町公園)



御供所297号線外(御供所通り)

- ◇広域事業
- 提案事業
 - ・官民共働による都心の魅力向上(天神・博多)
 - 提案事業
 - ・民間建築物等修景助成事業



御供所井尻3号線(祇園大通り)



中州332号線外(中州中央通り)

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	都市再生整備計画区域 区域面積: 98.8ha
	滞在快適性等向上区域 区域面積: 2.8ha

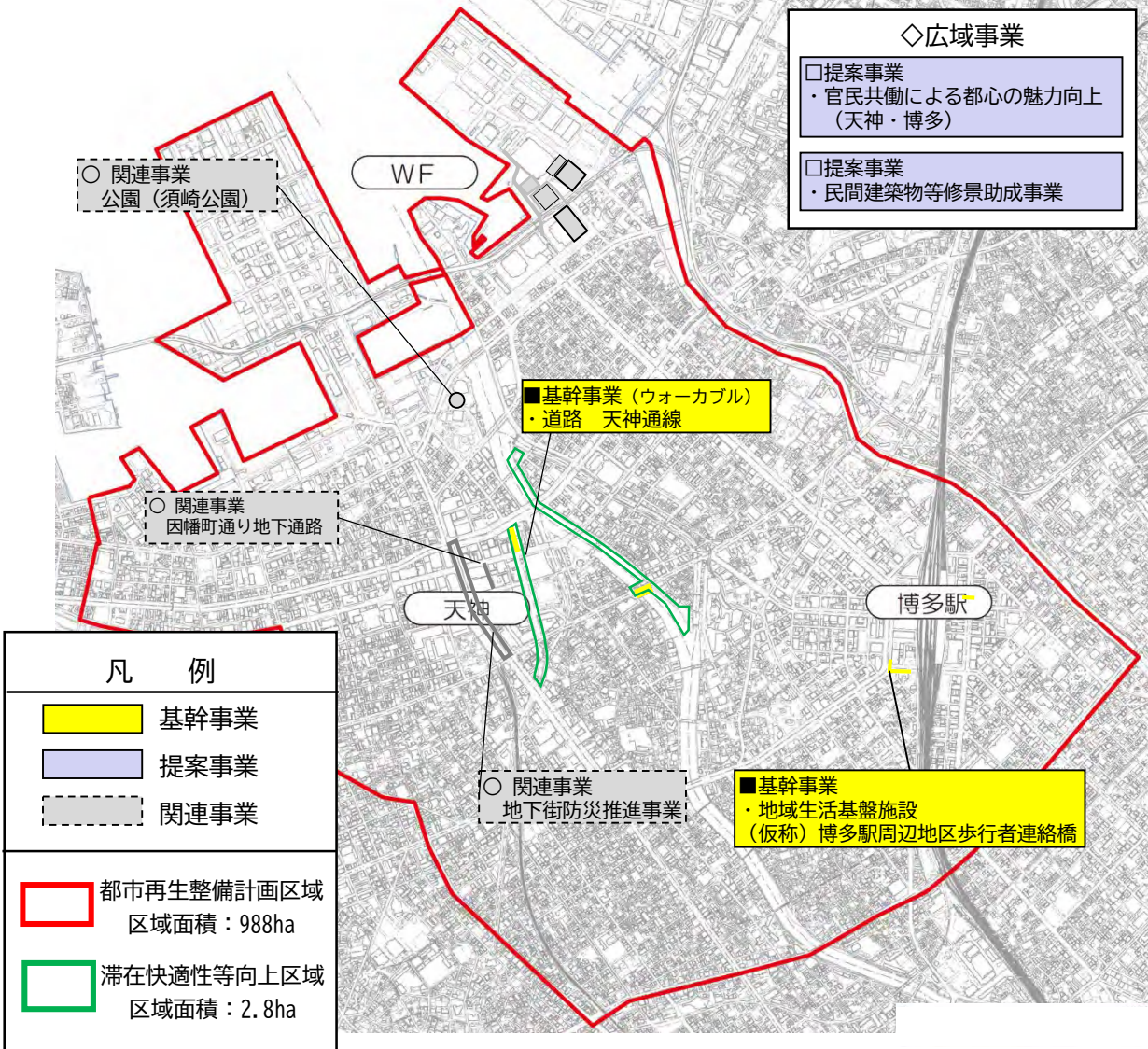
2. 「福岡都心部地区」の概要

2-3. 目標と事業(3)

目標3: 官民が連携したまちづくりの推進

基幹事業: 2件

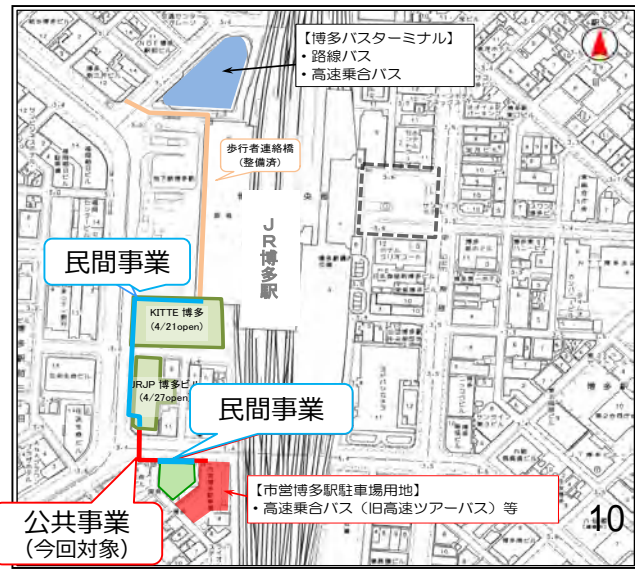
提案事業: 2件



官民共働による都心の魅力向上 (天神・博多)



博多駅周辺地区歩行者連絡橋



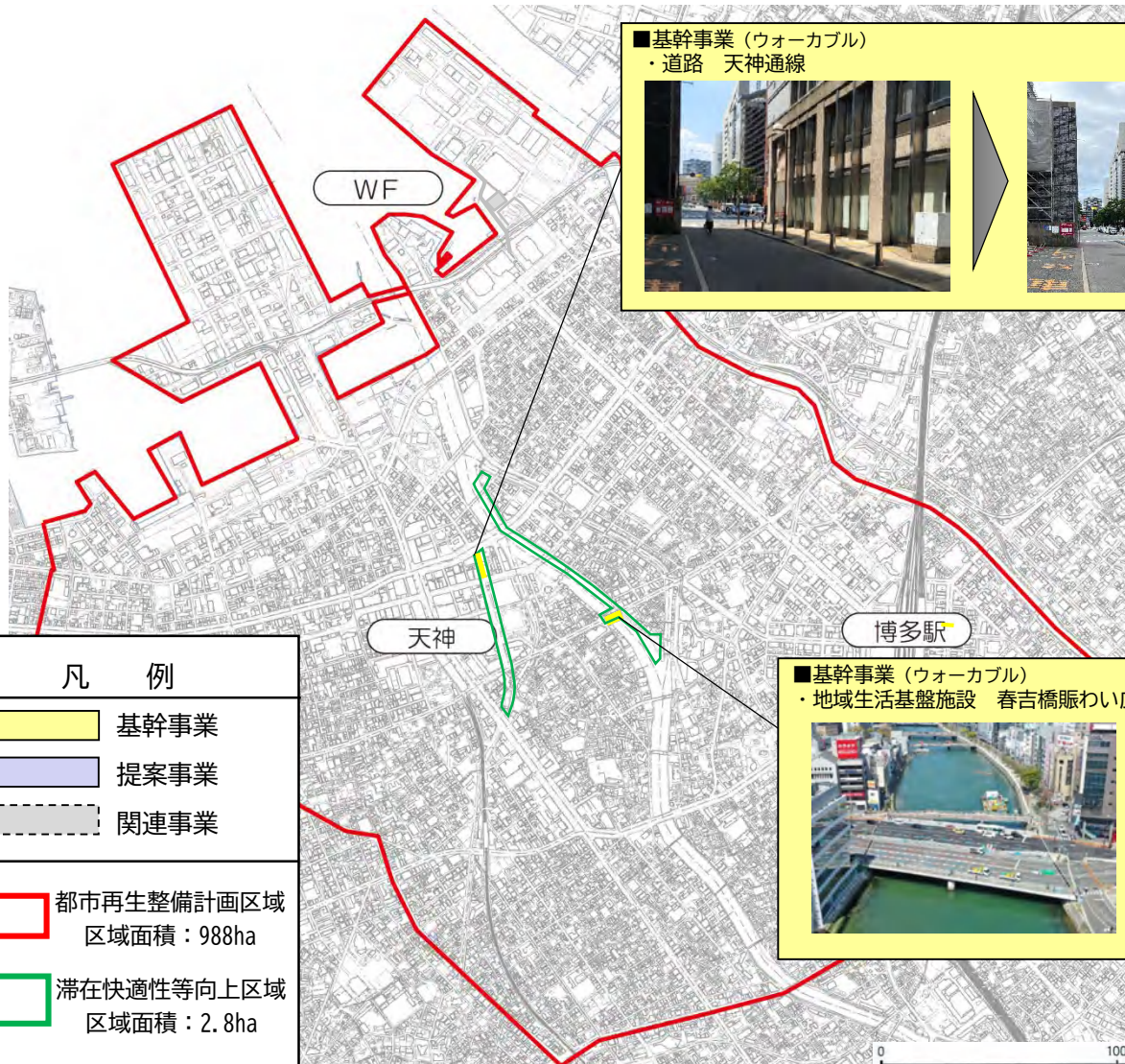
2. 「福岡都心部地区」の概要

2-3. 目標と事業(3)

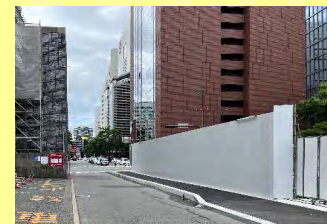
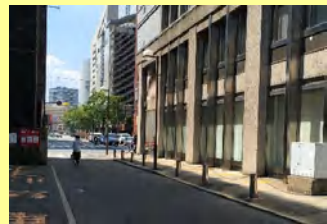
まちなかウォーカブルの推進

基幹事業：2件

「居心地が良く 歩きたくなる」、人中心のウォーカブルな空間整備として、道路や公園、広場などの公共空間の改修や高質化を進める



■基幹事業 (ウォーカブル)
・道路 天神通線



■基幹事業 (ウォーカブル)
・地域生活基盤施設 春吉橋賑わい広場



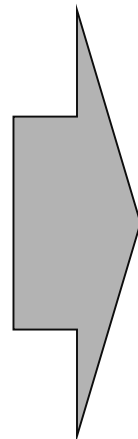
凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	都市再生整備計画区域 区域面積：988ha
	滞在快適性等向上区域 区域面積：2.8ha



2. 「福岡都心部地区」の概要

2-4. 目標と指標の関係

目標
目標1 都心部の核となる拠点の形成・機能強化
目標2 都心部の回遊性の強化
目標3 官民が連携したまちづくりの推進



目標を定量化する指標	
指標1	都心部主要駅乗降客数 都心部の主要駅における乗降客数
指標2	都心部の従業者数 都心部における民営事業所の従業者数
指標3	都心部の1日あたりの歩行者交通量 都心部の主要地点における歩行者交通量
指標4	入込観光客数 本市へ来訪する観光客の数

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-1. 目標を定量化する指標の達成状況一覧

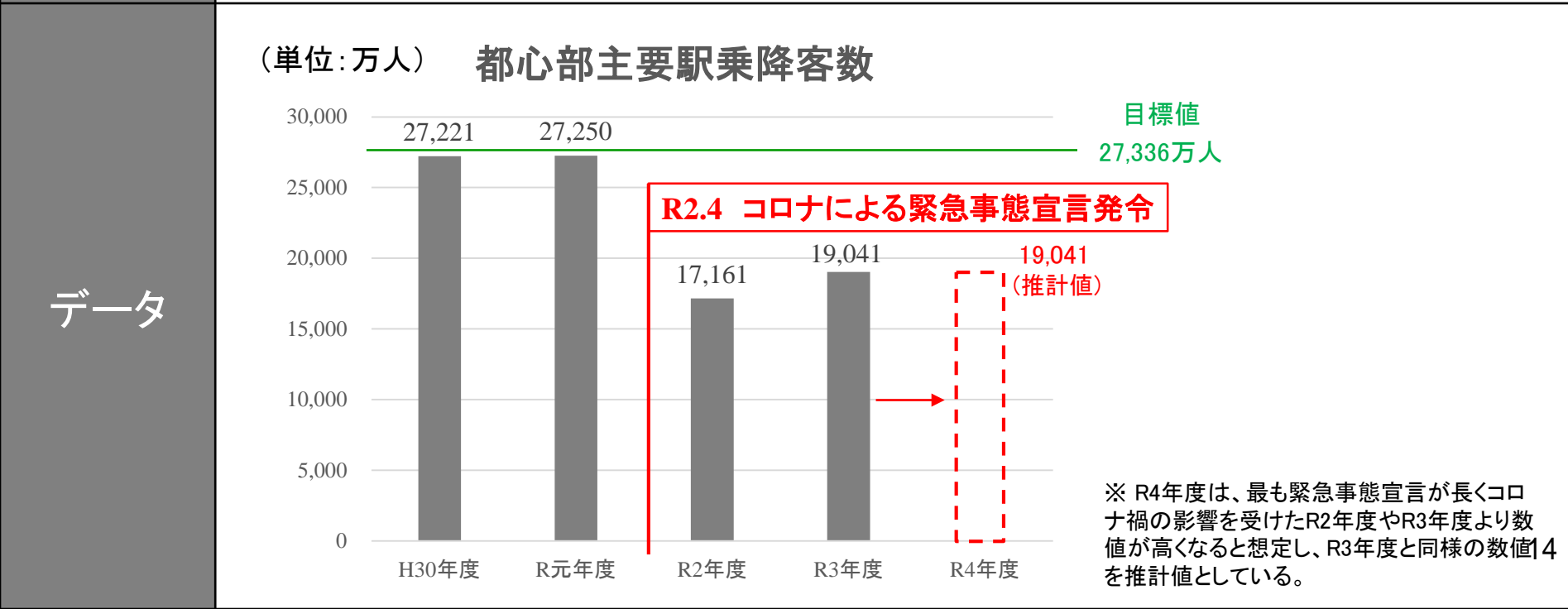
指標	単位	従前値	目標値	評価値	達成状況※
指標1 都心部主要駅乗降客数	万人/年	25,412 (H27)	27,336 (R4)	19,041	×
指標2 都心部の従業者数	千人	353.5 (H26)	385.5 (R4)	396.3	○
指標3 都心部の1日あたりの歩行者交通量	千人/日	132.3 (H28)	135.9 (R3)	75.2	×
指標4 入込観光客数	万人/年	1,974 (H27)	2,116 (R4)	1,221	×

※ ○: 目標値を達成、△: 目標値は未達成であるが従前値より改善、
×: 目標値を達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-2. 指標1: 都心部主要駅乗降客数

数値目標	従前値(H27)	目標値(R4)	評価値(R4)	達成状況
	25,412(万人/年)	27,336(万人/年)	19,041(万人/年)	×
指標定義	都心部にあるJR、西鉄電車、福岡市営地下鉄5駅の乗降客数の合計			
達成状況	評価値:19,041(万人/年) ⇒ 目標未達成 (R元年度は目標値と近い数値)			



3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-2. 指標1: 都心部主要駅乗降客数

効果発現要因 (総合所見)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や感染拡大防止のため、飲食店の休業や外出自粛等の人流が抑制された結果、駅の利用者数が減少した。しかし、コロナ禍以前の平成31年度の都心部主要駅乗降客数は27,250万人/年であり、目標値に近い値となっている。

目標値には届かなかったものの、博多駅筑紫口駅前広場の整備や自転車駐車場の整備により、都市拠点の整備及び交通結節機能の強化が図られた。

本計画で実施した主な事業



博多駅筑紫口駅前地下駐輪場(事業後)

博多駅筑紫口駅前広場(事業前・後)

地下鉄七隈線新駅地下駐輪場(事業前・後)

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-3. 指標2 : 都心部の従業者数

数値目標	従前値(H26)	目標値(R4)	評価値(R4)	達成状況
	353.5(千人)	385.5(千人)	396.3(千人)	○

指標定義 経済センサス(総務省統計局)における事業所(公務を除く)の従業者数から都心部におけるデータを抽出したもの

達成状況 評価値:396.3千人 ⇒ 目標達成

データ

(単位:千人) **都心部の従業者数**

年	従業者数
H26年	353.6
R3年	396.3 (推計値)
R4年	396.3 (推計値)

R3年度の経済センサスでは公称町別の調査値が公表されていないため、都心部における従業者数データは、下記の方法で数値を推計した。

■ H26年、R3年の博多区+中央区における民営事業所 A~R 全産業(S公務を除く)の増減率を算出し、R3年の都心部従業者数を推計した。コロナ禍においても減少は見られず、R4も同程度以上で推移していると考えられる。

	博多区+中央区における民営事業所A~R 全産業(S公務を除く)	増減率
H26年	525,107人	1.000
H28年	532,720人	1.014
R3年	588,580人	1.121

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-3. 指標2: 都心部の従業者数

効果発現要因
(総合所見)

規制緩和によって民間投資を呼び込む「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」により感染症にも対応した先進的なビルへの建替えが進んでいるなか、道路のバリアフリー化や駐輪場等の生活基盤施設整備、公園等の憩い空間整備などにより、魅力あるオフィス空間づくりに寄与し、目標値達成につながった。

指標の改善に影響を与えた主な要因

本計画で実施した主な事業

国家戦略特区や市独自の容積率緩和制度などの規制緩和を活用したまちづくり

新たな空間と雇用を創出



3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-4. 指標3: 都心部の1日あたりの歩行者交通量

数値目標	従前値(H28)	目標値(R3)	評価値(R3)	達成状況												
	132.3(千人/日)	135.9(千人/日)	75.2(千人/日)	×												
指標定義	天神地区・博多駅周辺地区22地点における7～20時の歩行者交通量の合計値(平日、休日調査し、平均値を合計)															
達成状況	評価値:75.2千人 ⇒ 目標未達成															
データ	<p>(単位:千人) 都心部の1日あたりの歩行者交通量</p> <table border="1"><caption>都心部の1日あたりの歩行者交通量 (単位:千人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>従前値</th><th>目標値</th><th>評価値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H28年度</td><td>132.3</td><td>135.9</td><td>132.3</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>-</td><td>135.9</td><td>75.2 (確定値)</td></tr></tbody></table>				年度	従前値	目標値	評価値	H28年度	132.3	135.9	132.3	R3年度	-	135.9	75.2 (確定値)
年度	従前値	目標値	評価値													
H28年度	132.3	135.9	132.3													
R3年度	-	135.9	75.2 (確定値)													

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-4. 指標3: 都心部の1日あたりの歩行者交通量

効果発現要因 (総合所見)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や感染拡大防止のため、飲食店の休業や外出自粛等の人流が抑制された結果、都心部の歩行者交通量が減少した。加えて、歩行者交通量調査期間中にまん延防止等重点措置が発出され、より人流が抑制されたことも起因している。

本計画で実施した主な事業



きらめき通り(平常時)



きらめき通り(イベント時)

FUKUOKA STREET PARTY



官民共働による都心の魅力向上(天神)



民間建築物等修景助成事業



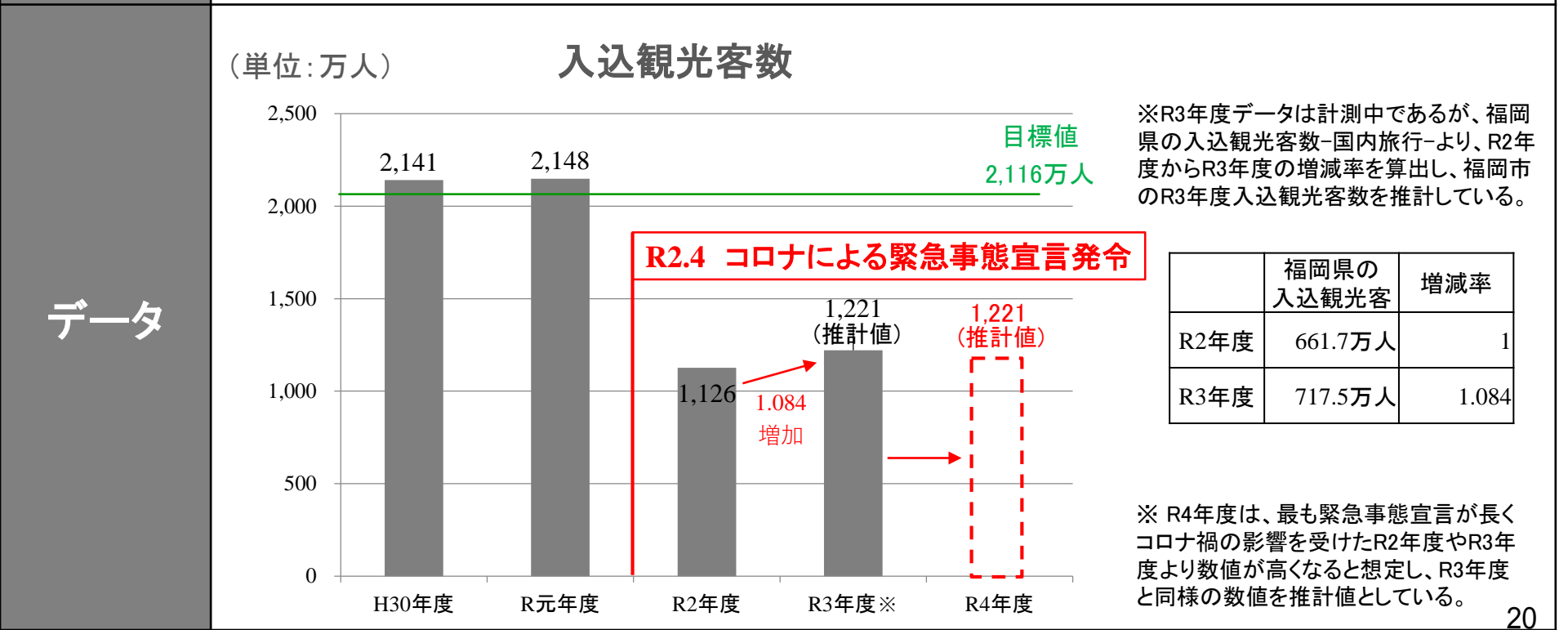
官民共働による都心の魅力向上(博多) (仮称)博多駅周辺地区歩行者連絡橋



3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-5. 指標4: 入込観光客数

数値目標	従前値(H27)	目標値(R4)	評価値(R4)	達成状況
	1,974(万人/年)	2,116(万人/年)	1,221(万人/年)	×
指標定義	福岡市における入込観光客数			
達成状況	評価値:1,221(万人/年) ⇒ 目標未達成(R元年度は目標値を達成)			



3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-5. 指標4: 入込観光客数

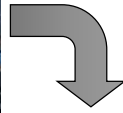
効果発現要因 (総合所見)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や感染拡大防止のため、飲食店の休業や外出自粛等の人流が抑制された結果、入込観光客数が減少した。しかし、コロナ禍以前の平成31年度の入込観光客数は2,148万人/年であり、目標値を上回っている。

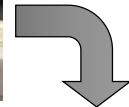
本計画で実施した主な事業



築港石城町線
(MICE施設が集積するWF地区の公共基盤整備)



博多旧市街エリア
(歴史資源を活かす石畳風舗装)



3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-6. その他指標：公示地価（福岡都心部地区平均価格）

数値目標	従前値(H28)	目標値(R4)	評価値(R4)	達成状況												
	926,921(円/㎡)	-	2,192,944(円/㎡)	○												
指標定義	福岡都心部地区における公示地価平均価格															
達成状況	評価値：2,192,944(円/㎡) ⇒ 目標達成(従前値より増加)															
データ	<p>(単位：円) 公示地価(福岡都心部地区平均価格)</p> <table border="1"><caption>公示地価(福岡都心部地区平均価格)</caption><thead><tr><th>年</th><th>公示地価(円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30年</td><td>1,187,253</td></tr><tr><td>R元</td><td>1,373,747</td></tr><tr><td>R2年</td><td>1,673,478</td></tr><tr><td>R3年</td><td>1,791,763</td></tr><tr><td>R4年</td><td>2,192,944</td></tr></tbody></table>				年	公示地価(円)	H30年	1,187,253	R元	1,373,747	R2年	1,673,478	R3年	1,791,763	R4年	2,192,944
年	公示地価(円)															
H30年	1,187,253															
R元	1,373,747															
R2年	1,673,478															
R3年	1,791,763															
R4年	2,192,944															

3. 目標を定量化する指標の達成状況及び効果発現要因

3-5. その他指標：公示地価（福岡都心部地区平均価格）

効果発現要因 （総合所見）

都市拠点の整備や新たな開発の増加が都市の魅力向上に繋がり、従前値を大きく上回った。「目標1：都心部の核となる拠点の形成・機能強化」を把握する指標として、ふさわしいと考える。

本計画で実施した主な事業



博多駅筑紫口駅前広場（事業後）



御供所井尻3号線（祇園大通り）（事業後）



（仮称）博多駅周辺地区歩行者連絡橋
（事業後）



天神通線（継続中）

4. 今後のまちづくり方策

大目標

九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標 1

都心部の核となる拠点の形成・機能強化

現
計
画

整備方針

天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区の交通結節機能向上

- 駅周辺における歩行者ネットワーク強化
- 駅をはじめとした拠点のアクセス性向上
- 賑わい創出に資する都市基盤の整備



の
課
題

ま
ち
づ
く
り

残された課題

■ 民間建築物の更新が活発に進んでおり、今後も継続して、バリアフリー対応の歩行者ネットワークや賑わい、憩い空間の整備などが求められている。



次
期
計
画

整備方針

● 天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区およびウォーターフロント地区において、交通結節機能を向上するため、駅周辺等における歩行者ネットワークの強化や拠点間及び駅をはじめとする拠点へのアクセス性の向上、賑わい創出に資する都市基盤の整備を進め、アジアと九州・西日本地域をつなぐビジネス・観光のゲートウェイにふさわしい魅力ある都市空間を創出する。

4. 今後のまちづくり方策

大目標

九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標 2

都心部の回遊性強化

現計画

整備方針

市民や来訪者が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルデザインによるまちづくり

- 歩行者空間の高質化・バリアフリー化
- 交流拠点となる公園や水辺空間の整備
- 新たな回遊動線の整備

まちづくりの課題

残された課題

- ユニバーサルデザインによるまちづくりは進んでいるが、バリアフリー未対応や歩行者空間が不足する道路もいまだ残っている。引き続きバリアフリー対応の歩行者ネットワークの構築を図るとともに、ウォーカブルな空間づくりを図る必要がある。
- まちなかの憩い・交流空間の整備状況は今もなお十分とは言えず、今後も継続して公園整備等の安全で快適な交流空間整備に取り組む必要がある。

次期計画

整備方針

- 歩行者空間の高質化やバリアフリー化、交流拠点となる公園や水辺空間、新たな回遊動線の整備などにより、市民や来訪者が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルデザインによるまちづくりを進める。
- 快適な歩行者空間の確保や広場等の整備などにより、滞在の快適性及び魅力の向上を促進し、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を図る。

4. 今後のまちづくり方策

大目標

九州・アジアの交流都市にふさわしい都心部の機能強化と魅力づくり

目標3

官民が連携したまちづくりの推進

現計画

整備方針

都市部の魅力向上

- 官民連携した歩行者ネットワークの整備
- 地域まちづくり団体等との共働による賑わい・魅力づくり



まちづくり
の課題

残された課題

■厳しい状況のもと、都心部のエリアマネジメント団体との共働や官民連携による都市基盤の整備など、民間のノウハウや民間活力のさらなる活用が必要である。



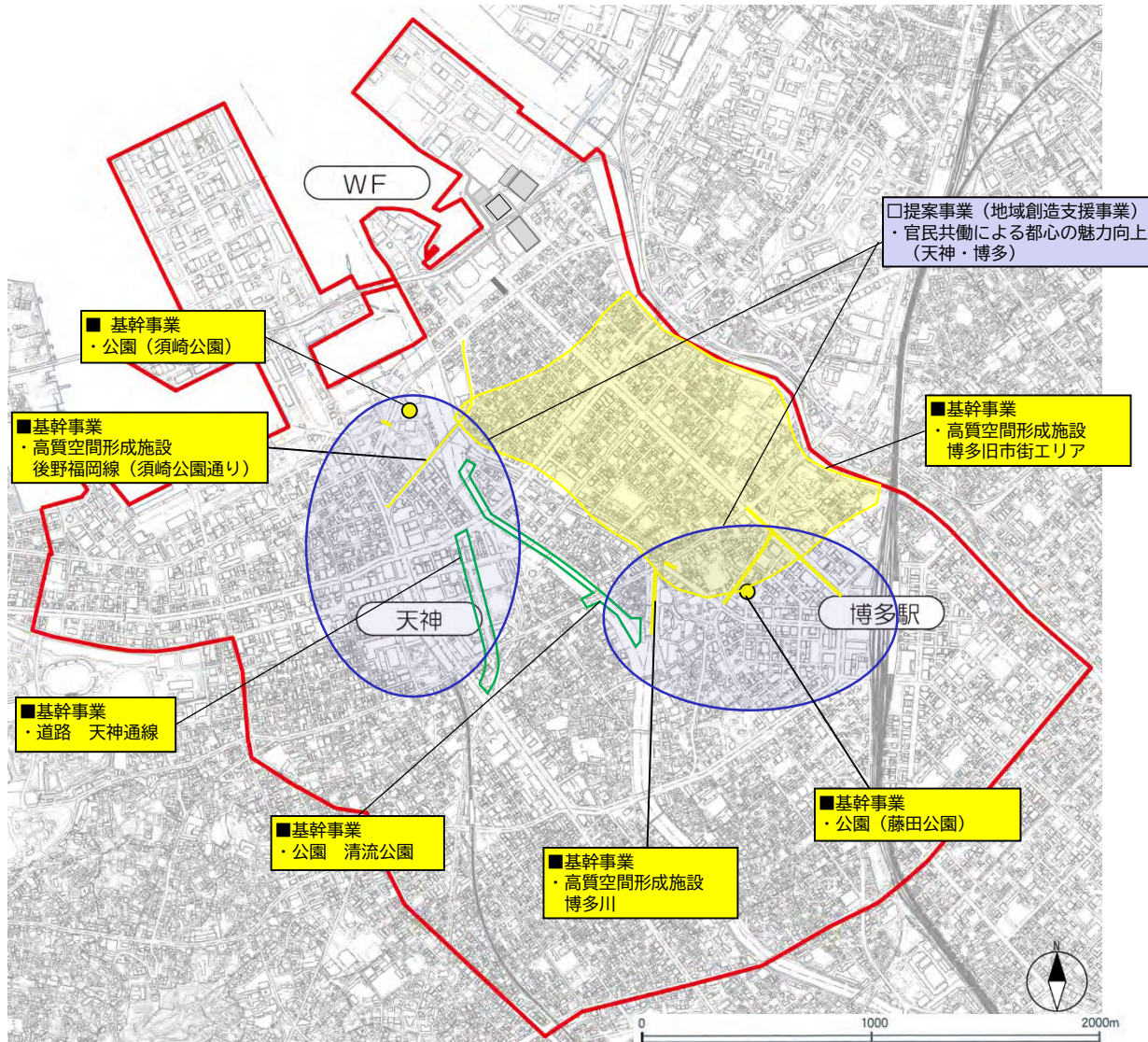
次期計画

整備方針

●官民連携した歩行者ネットワークの整備や地域まちづくり団体等との共働による賑わい・魅力づくりを進め、都心部の魅力向上を図る。

4. 今後のまちづくり方策

次期計画の主な事業(案)



- ◇ 広域事業
- 提案事業 (地域創造支援事業)
・民間建築物等修景助成事業
 - 提案事業 (事業活用調査)
・都心部歩行者等交通量調査
 - 提案事業 (事業活用調査)
・事業効果把握調査

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	都市再生整備計画区域 区域面積：988ha
	滞在快適性等向上区域 区域面積：2.8ha